



エコアクション21
環境経営レポート
(対象期間:2021年1月~2021年12月)



2022年4月5日発行
三英電設株式会社

＜環境経営方針＞

三英電設株式会社は、情報通信インフラ構築のプロ集団として、情報通信インフラの設計から工事、保守に至るまでのサービスを提供しています。

理念である①安全の確保、②品質の向上、③技術の習得を愚直に取り組み、さらなる成長と発展を期するとともに、社員が一丸となり、SDGsのターゲットを踏まえ、環境負荷の低減、循環型社会構築の推進により、地域の環境保全に貢献する企業を目指します。

【行動指針】

- 1) 「5S活動」の推進により、職場、作業現場の状態を明確にし、環境の保全に努めます。
- 2) 省資源、省エネ、節水を推進し、廃棄物、二酸化炭素、下水の排出量削減に努めます。
- 3) エコドライブを推進し、大気汚染の抑制に努めます。
- 4) 建設資材、事務用品のグリーン購入を推進します。
また、不要不急の購入が無いように、適正管理に努めます。
- 5) 廃棄物の分別、作業現場での残材・撤去物等の適正処理を徹底します。
- 6) 環境関連法規を遵守します。
- 7) 環境目標・活動計画を定め、定期的に活動状況・達成状況を確認し、是正・見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2017年 11月 1日制定

2022年 1月 1日改訂

代表取締役

上條 昇一

I. 組織の概要

1. 事業所名
三英電設株式会社
2. 代表者氏名
代表取締役 上條 昇一
3. 事業所所在地
本 社 : 東京都八王子市千人町3-2-17
八王子技術センター: 東京都八王子市千人町3-33-9
4. 環境管理責任者
佐藤 清治(総括部長)
連絡先 TEL: 042-661-5997 E-Mail: satoh-sei@sanei-densetu.com
5. 事業の規模
資本金: 3,000万円
従業員数 本社: 6名 八王子技術センター: 16名 (全従業員数: 61名) 2021.12末現在
延床面積: 本社事務所: 129㎡
八王子技術センター事務所: 143㎡ 駐車場・倉庫: 383㎡
敷地面積 652㎡
保有車両 高所作業車: 1台、トラック: 1台、ワゴン: 1台、バン: 2台、軽ライトバン: 6台
6. 事業活動の内容
電気通信工事業、電気工事業、人材派遣業、警備事業
7. 事業許可の内容
 - ・一般建設業【電気通信工事業】(昭和46年10月21日許可)
東京都知事許可(般-28)第30858号 令和3年4月5日～令和8年4月4日
 - ・一般建設業【電気工事業】(平成28年11月15日許可)
東京都知事許可(般-28)第30858号 令和3年4月5日～令和8年4月4日
 - ・警備業(平成21年6月16日認定)
東京都公安委員会 第30003465号 令和1年6月16日～令和6年6月15日
 - ・産業廃棄物収集運搬業(平成26年1月14日許可) (自社用のみ)
東京都知事許可 第13-00-175044号 平成31年1月14日～令和6年1月13日
8. その他
設立年月日: 1971年 7月 17日
事業年度: 1月～12月



II. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 三英電設株式会社

対象事業所: 本社、八王子技術センター

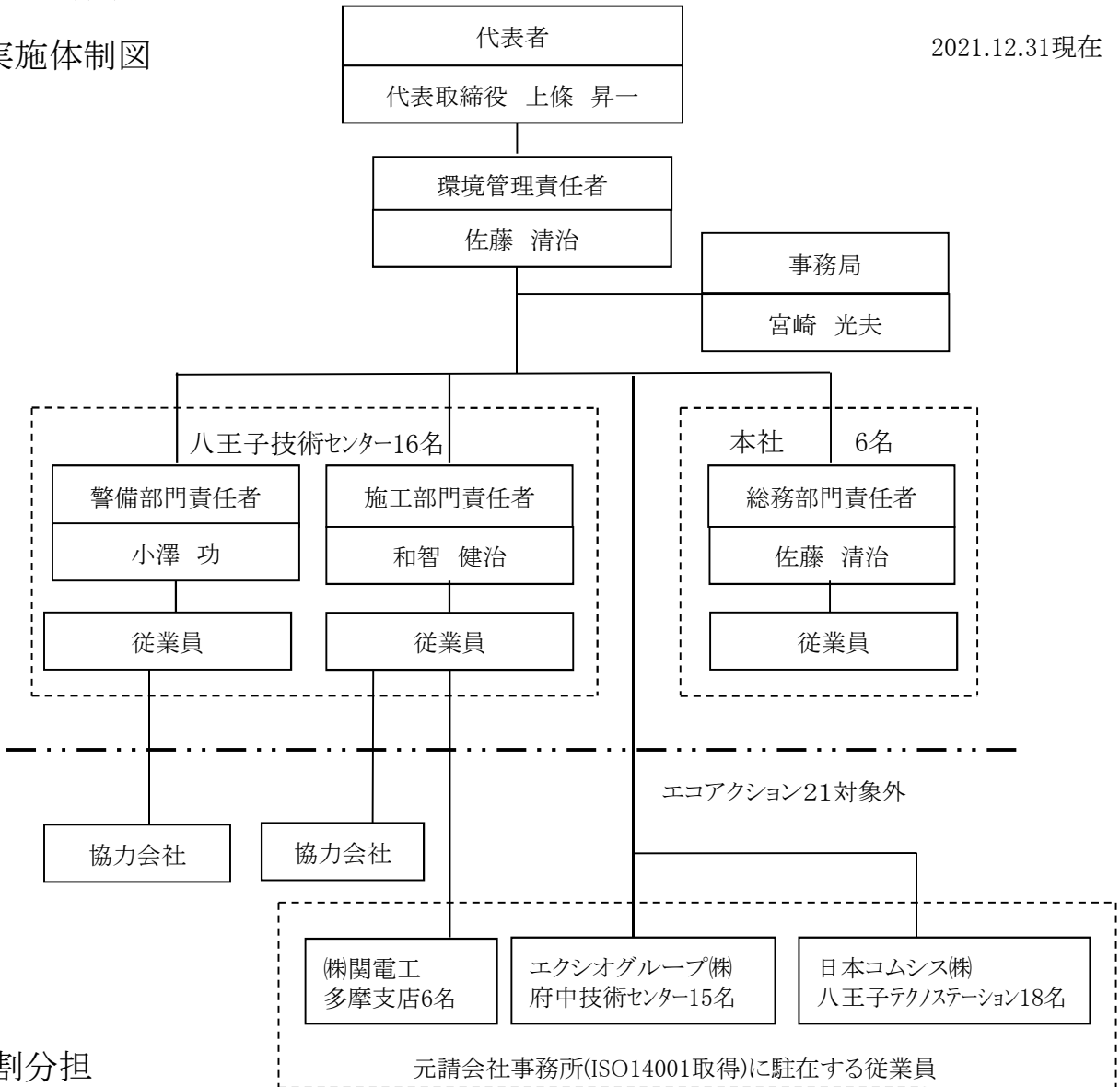
活動: 電気通信及び電気の工事業、並びに警備業

登録対象外: ISO14001を取得した元請会社の事務所に常駐する従業員の活動

Ⅲ. 実施体制

実施体制図

2021.12.31現在



役割分担

代表者	<ul style="list-style-type: none"> 経営における課題とチャンス の明確化、環境経営方針・体制の承認・見直し 活動資源(要員・設備・費用等)の用意 環境管理責任者の任命 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21活動の計画承認と実施管理 環境経営レポート原案の確認、補足 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21活動全体の計画立案 環境への負荷・取組、関連法規の遵守のチェック 環境経営レポート原案の作成
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 部門従業員への教育・指導 実施状況を確認・記録し、環境管理責任者へ報告
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針・環境目標及び取組の重要性を理解 行動計画に基づき、自主的、積極的に環境経営活動を実施

IV. 環境経営目標

大項目	項目名	単位	2016年度 基準年	環境経営目標			
				2021年度	2022年度	2023年度	
(1)省エネルギー	二酸化炭素排出量の削減(適正化)	kg-CO2	52,429	52,429	52,429	52,429	
				—	—	—	
	①電力使用量の削減(1%)	kWh	25,014	23,763	23,513	23,263	
				5%	6%	7%	
	②ガソリン燃費の向上	km/l	10.7	11.1	11.2	11.3	
				4.0%	5.0%	6.0%	
事務所	(2)廃棄物削減・リサイクル促進	分別廃棄の励行(削減1%)	kg	2,814	2,673	2,645	2,617
					5%	6%	7%
	(3)節水	水消費量の削減(1%)	m ³	161	153	151	150
					5%	6%	7%
(4)グリーン購入	事務用品のグリーン購入	品目	0	1	1	1	
作業現場	(5)廃棄物削減	①飲食ゴミの購入箇所での廃棄励行	励行率%	100	100	100	100
		②施工要領を遵守した工事残材の削減	遵守率%	100	100	100	100
	(6)工具類の適正管理	工具類の棚卸実施(年2回)	遵守率%	—	100	100	100
	(7)環境への配慮	作業後の清掃励行	励行率%	100	100	100	100

* CO₂実排出係数=0.500 kg-CO₂/kWh 東京電力エナジーパートナー(株)平成27年度実績

* 対象となる化学物質の使用がないため、目標設定は無し

* 使用するエネルギー軽油と都市ガスは下記理由のため、目標設定は無し

軽油:軽油を使用する高所作業車は、作業内容により消費量が大きく変動するので自己管理出来ない
都市ガス:家庭と共用で、事務所は冬季限定の暖房で使用している

V. 活動計画

環境経営目標	活動計画	責任箇所
二酸化炭素排出量の削減	排出量の把握	事務局
電力使用量の削減	不在・不要時の消灯、電源OFF PCのスリープモード設定 空調温度の適正化(冷房:26℃、暖房:20℃)	本社 八王子技術センター
ガソリン燃費の向上	ふんわりアクセル 加減速の少ない運転 走行経路の適正化 駐車時の不要アイドリング削減	八王子技術センター
事務所廃棄物削減・リサイクルの促進	分別廃棄の励行 コピー用紙使用量の削減	本社 八王子技術センター
水消費量の削減	節水の呼びかけ	本社 八王子技術センター
事務用品のグリーン購入	購入時、グリーン購入法適合の有無確認	本社
作業現場の廃棄物削減	飲食ゴミの購入箇所での廃棄励行 施工要領を遵守した工事残材削減	八王子技術センター
工具類の適正管理	工具類の棚卸(年2回)	八王子技術センター
作業現場の環境への配慮	作業後の清掃励行	八王子技術センター

VI. 目標の達成状況と分析

達成状況の分析については、2020年度と比較して行いました。

1. 省エネルギー

(1) 二酸化炭素排出量の削減

年間の二酸化炭素排出量は、前年54,923kg-CO₂に対し、43,268kg-CO₂と21%減となりました。これは基準年の2016年度52,429kg-CO₂を下回りました。

内訳の前年度比較は、電力94%、ガソリン89%、軽油50%でした。

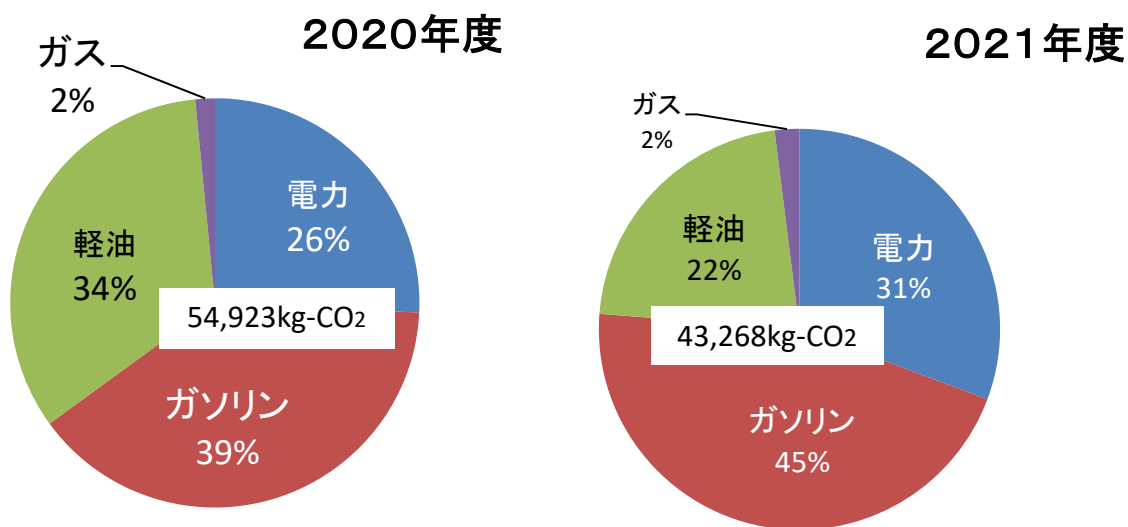
電力の排出量減少は業務用エアコン3台の内、2台を交換した結果です。

ガソリンの排出量減少は遠距離エリアでの作業が減少したためです。

軽油の排出量減少は高所作業車を使用する作業の大部分を協力会社が行っているためです。

73%を占めるガソリン・軽油の使用量は、現場作業の状況に応じ、大きく変動するので、継続して状況を把握し、適切な対応を検討してまいります。

二酸化炭素排出量の内訳

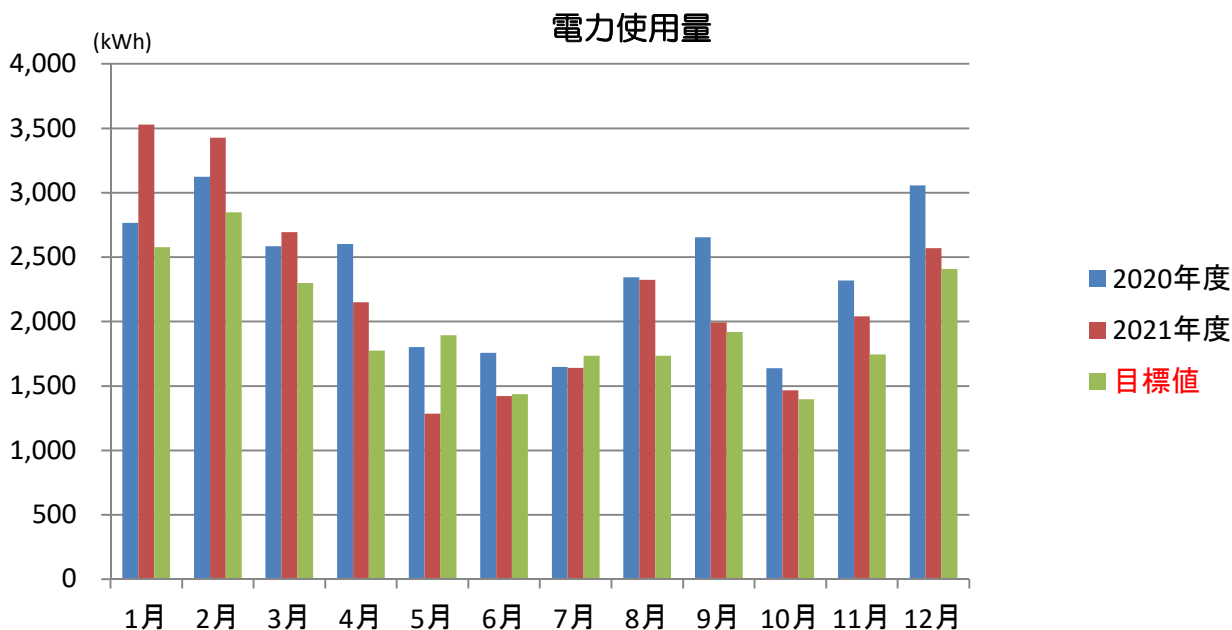


注: 電力の二酸化炭素排出係数は、前年との比較のため、0.500 kg-CO₂/kWhを使用。
2020年度の温室効果ガス排出量算出に使用する東京電力エナジーパートナーの調整後排出係数0.442 kg-CO₂/kWhを使用すると、13,273kg-CO₂は11,733kg-CO₂。
全体の排出量は、41,729kg-CO₂。

(2) 電力使用量の削減

不在・不要時に点灯している際は、気づいた者が消灯していますが、電力使用量は、目標値23,763kWhに対し、26,545kWh、112%で未達成でした。

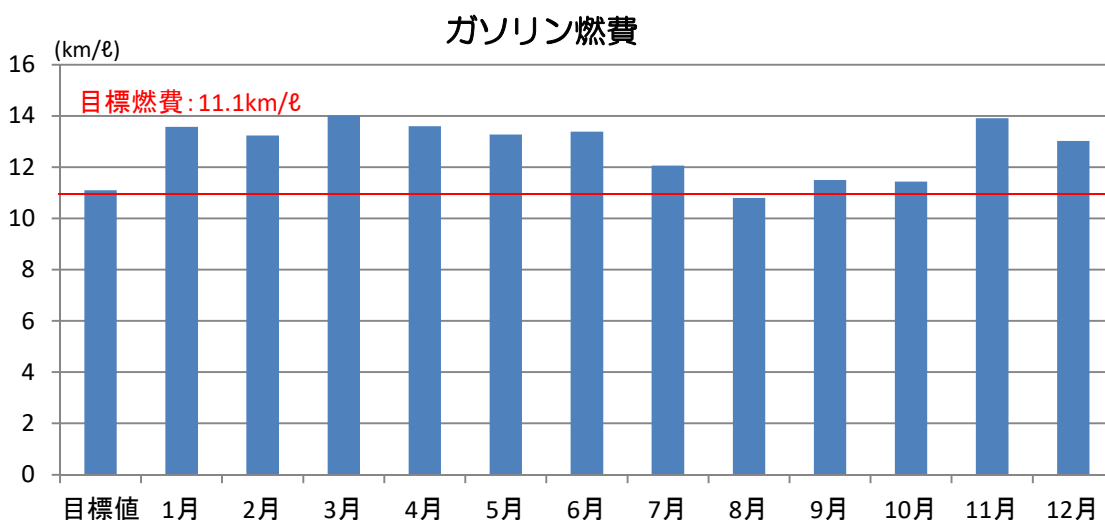
前年度に続き、新型コロナウイルス感染防止のための窓開け換気をしているが、前年28,293kWhに比べ9%削減しました。これは、業務用エアコン3台の内、7月と11月に各1台を取替えて、省エネした結果です。



(3) ガソリン燃費の向上

作業で使用する軽ワゴン車など8台の年平均ガソリン燃費は、12.8 km/ℓであり、目標値11.1km/ℓをクリアしました。前年は12.5 km/ℓでした。

作業に使用する軽ワゴン車1台を前年10月に新車に更新し、これの平均燃費が12.3km/ℓから14.6km/ℓに改善した効果が寄与しています。



2. 事務所廃棄物削減・リサイクルの促進

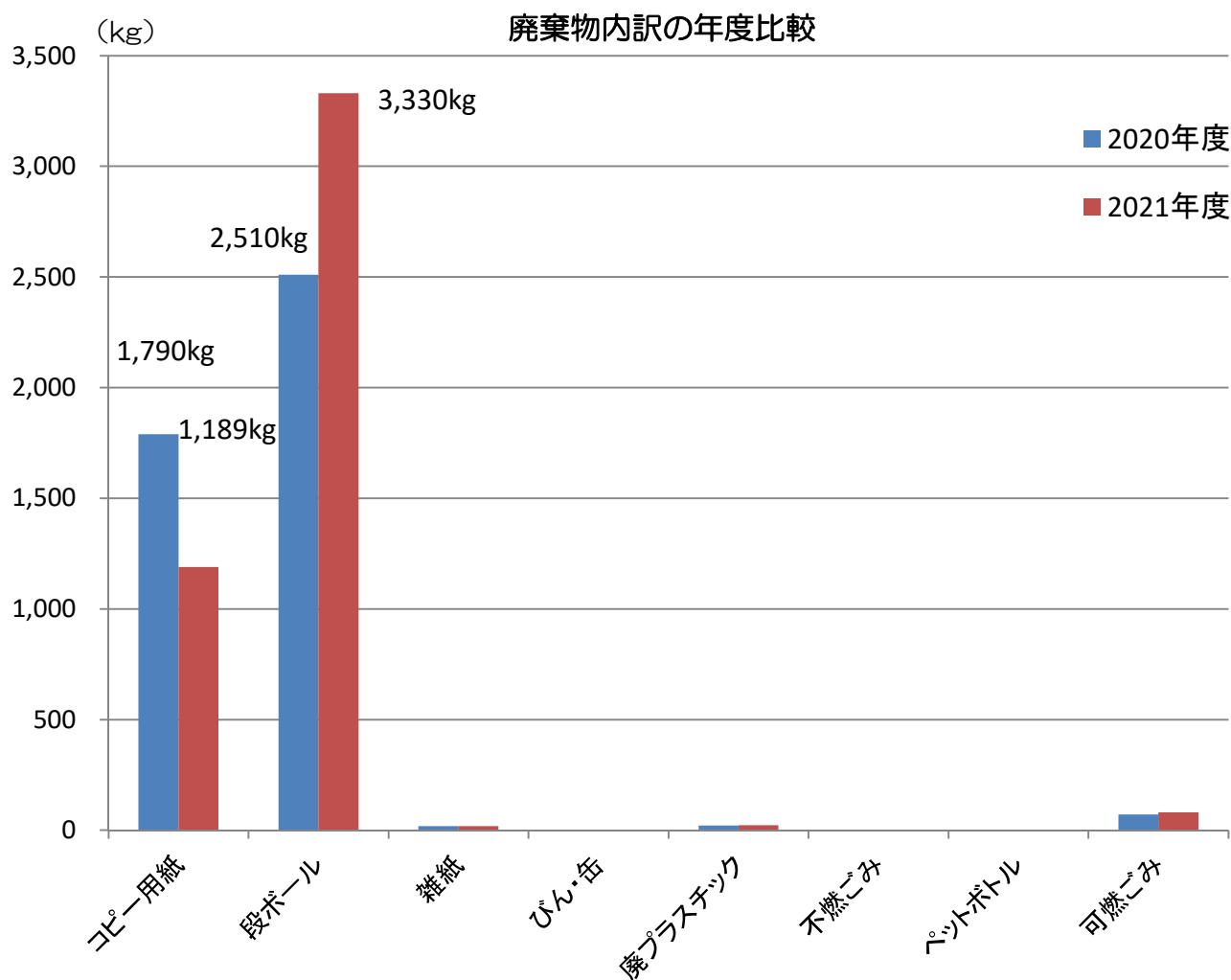
(1) 分別廃棄の励行

事務所ごみの分別収集に努めていますが、廃棄量は、目標値2,700kgに対し、4,636kg、172%で未達成でした。前年4,440kgに対し、4.5%増加しています。

内訳で見ると、コピー用紙が1,790kgから1,189kgに34%減少、段ボールが2,510kgから3,330kgに33%増加しました。

26%を占めるコピー用紙は、前年に大量の廃棄をしたので、例年より少ない水準になりました。

また、段ボールは、増加して72%を占めました。照明LED化、街路灯取替、監視カメラ取付、LAN機器取替、大型ディスプレイ取付などの工事が増えことで、大量に梱包材の廃棄が発生しました。このように受注した工事内容により大きく変動するので、引き続き、毎月の廃棄量を把握し、対応方法を検討してまいります。



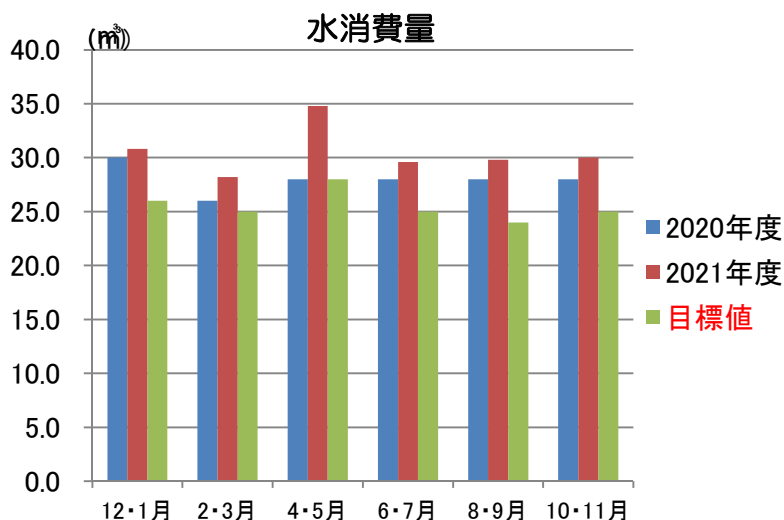
3. 水消費量の削減

水を使用する場所は、トイレと給湯・流し台です。

流しの蛇口に「節水」のシールを貼り、注意喚起してありますが、目標値153m³に対し、184m³、120%で未達成でした。なお、前年度168m³を9%増加しました。



節水の注意喚起



4. 事務用品のグリーン購入

事務用品は購入額の84%がグリーン購入適合品です。前年は約80%でした。

なお、グリーン購入適合品の80%をコピー用紙が占めています。

特定の紙質が望ましい名刺、USBメモリーなどが非適用品ですが、引き続き、購入の都度、適合の有無を確認してまいります。

5. 作業現場の廃棄物削減

(1) 飲食ゴミの購入箇所での廃棄励行

現場作業の際、コンビニ、自動販売機等で購入した弁当、ペットボトル等は、購入箇所のゴミ回収ボックスに廃棄しておりました。



駐車場の自動販売機

(2) 施行要領を遵守した工事残材削減

① 通信インフラ作業

作業の際、光ケーブル取付、撤去等は施工要領に従い、不要な残材が発生しないように施工していました。

昇柱での作業



高所作業車での作業



電柱間での作業



お客さま宅への引込作業



VII. 環境経営活動の取組結果とその評価、次年度の取組

環境経営目標	活動計画	実施結果	評価	次年度の取組み
二酸化炭素排出量の削減	・排出量の把握	○	前年に比べ21%減少し、基準年の2016年度を下回った。	引き続き、毎月の排出量を把握し、省エネに努める。
電力使用量の削減	・不在・不要時の消灯、電源OFF ・PCのスリープモード設定 ・空調温度の適正化(冷房:26℃、暖房:20℃)	△	目標値に対し、112%でクリアできず。なお、業務用エアコン2台を取り替えた省エネ効果で、前年の電力使用量に比べ、9%削減した。	消灯当番を指定するなどして、節電意識を高める。
ガソリン燃費の向上	・ふんわりアクセル ・加減速の少ない運転 ・走行経路の適正化 ・駐車時の不要アイドリング削減	○	運転日報の提出状況が改善し、目標クリアを明確に確認できた。燃費の向上は、新車交換の結果である。	環境目標を前年度燃費の1%向上とする。
事務所廃棄物削減・リサイクルの促進	・分別廃棄の励行 ・コピー用紙使用量の削減	×	目標値の172%で達成できず。	段ボールは、タイムリーにリサイクル事業者へ回収を依頼する。
水消費量の削減	・節水の呼びかけ	×	目標の120%で達成できず。	水道使用量を掲示して、節水の意識づけに努める。
事務用品のグリーン購入	・購入時、グリーン購入法適合の有無確認	○	事務用品購入額の84%がグリーン適合品で占めた。	環境目標をグリーン適合品の購入率の1%向上とする。
作業現場の廃棄物削減	・飲食ゴミの購入箇所での廃棄励行 ・施工要領を遵守した工事残材削減	○	パトロール時に確認した。	ルール順守を徹底する。
工具類の適正管理	・工具類の棚卸(2回/年)	△	備品管理の運用ルールを8月に制定し、運用を開始した。	ルール順守を徹底する。
作業現場の環境への配慮	・作業後の清掃励行	○	パトロール時に確認した。	清掃の励行に努める。

VIII. 環境関連法規等の遵守状況

業務遂行に際し、関連する環境関連の法規制等の遵守状況を確認した結果、適合していることを確認しました。

尚、これらの法規制に対する関係機関からの違反の指摘及び関連する訴訟等は過去3年間ありません。

区分	関連法規制等の名称	遵守状況の確認・評価
大気汚染	フロン排出抑制法	適合
	自動車NOX・PM法	適合
廃棄物	廃棄物処理法	適合
	家電リサイクル法	適合
	自動車リサイクル法	適合
	八王子市下水道条例	適合
	八王子市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例	適合

IX. 代表者による見直し

2021年度は、前年度に続き、新型コロナウイルス感染対策として、窓を開けての換気、外勤者と内勤者の業務エリア区画などにより、感染者の発生を防止しましたが、家庭内感染は発生し、従業員の自宅待機はありました。幸い業務の支障は無くすみしました。引き続き、発生状況を勘案し、感染防止に努めてまいります。

環境経営活動としては、不十分な点があり、特に、次の事項を重点に取り組みます。

①電力使用量の削減については、倉庫の照明が不在時でも点灯していることを散見するので、室内の照明も含め、消灯当番を決め、節電意識を高める。

②水消費量の削減については、トイレ、給湯室での使用に限られているので、削減が困難であるが、使用量を周知することで、節水の意識づけをする。

また、従来から取り組んでいる、省エネルギー、廃棄物の削減、節水、グリーン購入についても、全員に環境目標を認識させ、目標達成を目指し、引き続き、環境経営計画を着実に実施してまいります。

関連する環境関連法規制については、遵守されていますが、全員が十分理解した上で、業務に従事するように努めます。